

北九州憲法ネットニュース

発行 九条の会・北九州憲法ネット 2008年9月16日 第32号
 Tel & fax 591-5522
 803-0817 北九州市小倉北区田町13番21号田町ビル3F
 E-mail⇒mail@kitaq-kenpou.net URL⇒http://kitaq-kenpou.net/

第9条

戦争の放棄、戦力の不保持、交戦権の否認

日本国民は正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

② 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

北九州憲法ネット第5回総会開催 新年度の活躍をめざす！

8月2日(日)15時から九条の会・北九州憲法ネット(略称「北九州憲法ネット」)第5回総会がムーブで開かれました。13時から、この開場で「渡辺治憲法講演会」が開かれており、その余韻を引き継ぎ、憲法を守り、発展させる意気込みの総会となりました。

司会を後藤景子弁護士が行い、北九州憲法ネット座長荒牧啓一氏が主催者挨拶、副座長の三輪俊輪氏が方針などを提案しました。来賓として、昨年末に結成され、活動を開始した「憲法改悪反対北九州共同センター」から前田憲徳弁護士が参加し、連帯の挨拶を行いました。

新年度の運動は、①党派を超えた広範な市民の憲法を守るネットワークづくり②憲法を巡る状況を把握・分析し市民に情報提供を行う③青年にたいする取り組みの強化の3つを基本

にしています。具体的には、ニュースの発行、ホームページの充実、九条の会の交流会、憲法改悪反対北九州共同センターとの連携、青年の役員を増やすなどです。

新しい、役員を選出も終わり、総会は無事終了しました。



渡辺治憲法講演会に400名参加

8月2日、「憲法をめぐる現局面と改憲阻止の展望」と題し、渡辺治氏(一橋大学大学院教授・九条の会事務局)の講演がありました。会場はムーブで400名の参加でした。

渡辺氏は、憲法をめぐる情勢をわかりやすく話し、改憲勢力のねらいと、私たちの闘いの力点をどこに置くかを、丁寧に解き明かしてくれました。

終了後、集約したアンケートでも、圧倒的に多くの方が「大変良かった」と評価し、(回収アンケート105枚)、70名が感想を書いてくれています。そのいくつかを紹介します。

● わかりやすく九条の会の歩みと、これから改悪派のねらいなどエネルギーに話してい

ただき有難うございました。

● 憲法をめぐる局面と改憲阻止に向けた行動の

在り方(展望)がよく分った。

- 講話の中での資料がたくさん有り、内容がさらに充実されわかりやすい話になったと思います。このような機会がたびたびあればもっといのちの大切さをみんなが共有できると思いました。是非資料、先生の本を東京で政治を学んでいる娘に紹介したいと思います。お疲れ様です。ありがとうございました。
- 渡辺先生の話はとても分りやすく感動しました。九条の会がんばりましょう。
- 憲法をめぐる9条の会の果たしている役割、政治的な動向がよく理解できました。それ以上に先生の「熱気」が私の心を打ちました。ありがとうございました。
- ビラ配布者を長期間尾行してビデオ記録して、民主的な運動を弾圧する公安警察のやり方に

驚き、許せないという怒りが湧いてきた。渡辺治氏の講演は、歯切れがよくリンとした声で「九条の会」の運動のあり方、九条を守る一点での力をあわせることの大切さを述べてくださった。2時間以上もとうとうと話され深い感動を受けました。当九条の会の運動も進ませたいと思う。



エッ？ アフリカ沖の島に九条？

アフリカ沖の島に“九条の碑”があることを皆さんは知っていました？実は私もついこの前知りました。

先日北九州映画サークル事務局ですすめられて『活憲の時代 コスタリカから九条へ』を買いました。この本は朝日新聞記者として1980年代から20年間国際報道をしてきた伊藤千尋さんの講演集です。ちなみに彼は2001年のテロのときにはロサンゼルスにいたそうです。

彼が直接その目で見た“九条の碑”があるのはアフリカ沖の島のカナリア諸島のテルデ市です。幹線道路そばの広場の名前は『ヒロシマ・ナガサキ広場』、その中に畳一枚くらいの白いタイルに青い文字（スペイン領なのでスペイン語）で九条の条文が焼き付けられていて、これはテルデ市長の依頼で日本の総領事館が九条をスペイン語に訳したものです。伊藤さんはその経過を次のように紹介しています。

空港と町を結ぶ幹線道路を作ったとき少しスペースが余ったので、市長は平和を考える広場をつ

くりたい
平和ならヒロシマ・ナガサキ広場
⇨何か象徴的なものがほしい
⇨日本国憲法九



テルデ市ヒロシマ・ナガサキ広場にある憲法9条の碑

これは市長の独断ではなく市議会に諮って与野党満場一致で決まりました。

5月には日本で九条世界会議も開かれたし、憲法九条って“日本だけのもの”と思っていたのに、世界に、それもアフリカの沖の島まで知られているのですねー。感動！残念ながら私ははるか彼方のアフリカまで出かける勇気もお金もありません。どなたかその目で確かめてみてくださいませんか？安達恵美子（八幡東区九条の会8月11日No.14）

おひお駅前での署名のひとコマ

折尾駅前での署名の様です。7月11日の活動では、女子高校生が向こうからニコニコ顔でやってきて「戦争反対です。

暑いのにご苦労様です。頑張ってください。うちのじいちゃんも9条の会に入っています」と語ってくれた時の彼女の顔の表情は、なんとも言いようのないものでした。自分もうれしさがこみ上げてきました。また、「9条って、なんですか」と中高



年のご婦人・・・日本国憲法9条のことです。と内容を説明すると、「戦争はいやや。名前書くわ」と署名してくれました。

まだまだ、9条のことが理解できていない方が多いので、いま少し、9条の中身を多くの方々に知らせる運動が必要だと思いました。

月2回の署名ですが、もう少し多くの参加者があればすいぶん違うかなあーと署名のたびに感じます。(憲法九条を守る折尾の会ニュースNo.35より)

「九条の会」第3回全国交流集会開催要領～9月16日から受付開始

第3回「九条の会」全国交流集会在、11月24日、東京・千代田区の日本教育会館で開かれます。その成功をめざす第2回運営委員会が、8月25日に開かれました。会議では、事務局から第3回全国交流集会のプログラムや運営の概要についての提案がおこなわれ、これをめぐって参加した分野や地域の「会」から積極的な意見が出され、次のようなことが確認されました。

◎新テロ特措法の期限切れをめぐる論議が重要な段階を迎えるなかの全国交流集会なので、午前の全体会では、よびかけ人のあいさつに続き、日本国際ボランティアセンターの谷山博史代表理事からアフガニスタン情勢等について特別報告を受ける。

◎午後は、昨年どおり青年の分科会を開くほか、職場の「会」の分科会を開く方向で積極的に検討する。他は分散会とする。

◎分散会・分科会では、つぎのようなテーマを中心に交流を深める。

- ・継続的な日常活動をどのようにおこなうか
- ・より広範な人々と結びつきつつ、いっそう草の根に九条の会を広げるにはどうするか

◎交流集会への参加・不参加にかかわらず全国の「会」の活動状況について把握し、交流集会で全体的特徴を報告するため、会議の開催やニュース発行状況、日常活動の柱など、できるだけ回答しやすい項目でアンケートを実施する(近日中にサイトにアップ)。

◎ 交流集会への参加は、所属する「会」の合意により、所定の申込書(近日中にサイトにアップ)で「九条の会」事務局に申し込む。申し込みの受け付け開始は9月16日とする。

9・9全国一斉「9条を世界に！」行動

北海道の函館の市民団体が呼びかけた「全国一斉9条を世界に！」行動が、北九州でも取り組まれました。北九州共同センターが中心になり、

地区労連、自由法曹団、新婦人、九条の会、民商、国労などの団体・個人が参加。西小倉駅、戸畑駅、黒崎駅、門司駅、で取り組まれ、折尾

駅でも折尾九条の会による宣伝が行われました。

西小倉駅では、21名が参加し、ビラは750枚、これと一緒に、自治労連のティシュペーパー500枚と自由法曹団パンフを配布、前田弁

護士、前福岡県議高瀬菜穂子氏、小倉北平和委員会・塩塚氏、国労・中村氏がマイクで宣伝。折尾駅では朝6時50分から8時まで、6人の参加でビラ450枚を配布しました。

カンパ、メッセージありがとうございました。
引き続き皆様のご支援をお願いします。

カンパ 7月 山口司郎 河村智重子 有馬正人 森田禮三 小倉東総合法律事務所 戸上省三 来田時子 佐多道人 勝元紀 高崎千代子 新地美智子 銭谷十九雄 三崎英二 中西寿子 玉井史太郎 松永奉義 **8月** 江口佳郎 桑田勲二 島内弥七 原田紀子 勝野禎二 古賀三千人 木村昌稔 能美はるみ 水上建一郎 渡辺末子 丹下徹 野瀬秀洋 樋口コスエ 石橋近 渡辺和子 河野よう子 **9月** 棚次奎介 竹下秀俊 小川由美 小野恂一郎

メッセージ ●少しばかりですが、生活があるので気持ちだけですみません。7/25 A.M ●カンパ 7/28 M.R ●カンパ 7/28 T.S ● わずかですが、おくらせていただきます。7/28 K.T ● 支援カンパとして 7/30 M.E ● 憲法第九条を守るため、自衛隊の海外派兵恒久法の立法化を阻止しましょう。7/31 T.F ● わずかばかりですが、カンパとして 7/31 M.N ● 出費が多くなりましたが、さしあたり1000円送金します。適当に収納してください。5/3 意見広告の成功、8/2 渡辺講演会の成功ご苦労でした。8/4 K.M ● カンパ 8/4 K.T

憲法コラム MD (ミサイル防衛)

米国の欧州ミサイル防衛(MD)の迎撃ミサイル基地をポーランドに設置することがきまり、これをロシアが反発していることが八月に報道された。すでに五月にはチェコにMDのレーダー基地の建設が合意されている。MDは、敵国が弾道ミサイルを発射すると、レーダーで瞬時に察知し、3つの段階で迎撃ミサイルによって打ち落とすという構想のもとに配備される、極めて大仕掛けの兵器群▼しかし、この技術は未確立だ。弾道ミサイルは、1万キロの距離を30分で飛行する。マッハ10~20で落下するため「弾丸が弾丸を撃つ」と形容される、極めて困難な技術が求められる。1980年以降、これにアメリカは926億ドル(12兆円)の支出をしてきた。日本政府は、03年にMD

の導入を決め、04年以降、基本的予算だけで7000億円を支出してきた。これに、日米の軍需産業が巨大な利益を求めて群がってきた▼日本平和委員会の畑田重夫氏は、ポーランドとチェコのMD基地の米国の狙いを「米国の経済・政治の混迷の打開の方向として、イランへの軍事を起こす」ことにあると指摘する。グルジア問題を含め、今世界は、第2次世界大戦以降、最大の危機的状況にあるのではないのか▼しかし、世界の庶民は、平和を求める。MD反対の世論が起り、戦争反対の行動が世界で始まってきた。すでにアメリカの隣国・カナダではMDへの参加を拒否した。日本でもMD反対の世論を強めよう。憲法を踏みにじるMDに拒否の姿勢を!(盾)

